

# 大気・土壌・水等の分野における 政策の方向性(案)

2015年7月22日



# — 目 次 —

課題認識 . . . . .	1
政策の方向性 . . . . .	2
大気環境対策等 . . . . .	3
土壌汚染対策・化学物質対策 . . . . .	7
水環境・熱環境の向上 . . . . .	8



## 課題認識

### 大気環境対策等

#### (大気環境対策)

○環境基準の達成率が低いオキシダントやPM2.5について、NOx・VOC等の発生源対策や生成要因分析による効果的アプローチの検討が必要

#### (騒音・振動対策)

○近年増加傾向にある生活騒音の苦情への対応や、交通騒音のより一層の改善が必要

### 土壌汚染対策・化学物質対策

#### (土壌汚染対策)

○中小事業者等の土壌汚染対策を円滑に進めていくため、低コストで環境負荷の少ない合理的な対策への支援が必要

#### (化学物質対策)

○化学物質排出量は6割以上削減しているが、東京の特性である住工混在地域での化学物質によるリスクの低減が必要

### 水環境・熱環境の向上

#### (水環境対策)

○東京湾内湾で更なる水質改善に取り組むとともに、地下水保全等により自然の水循環を再生し、水辺環境を回復させていくことが必要

#### (暑さ対策)

○気候変動の影響もあり都市の高温化は継続。オリンピック・パラリンピックを見据え、会場や街なかでの暑さ対策が必要

PM2.5、オキシダントの濃度低減や化学物質等による環境リスクの低減、身近な水辺での水質改善や水循環の再生、都内各所における暑さ対策の展開等により、都民が心地よく生活できる環境の実現を目指す。



## 政策の方向性

### 《政策の柱》

快適な大気環境、良質な土壌と水循環の確保

- PM2.5、オキシダントの濃度低減に向け、多様な発生源の対策強化と生成要因の更なる分析
- 化学物質や土壌汚染などによる環境リスクの低減に向けた取組を推進
- 引き続き水質改善に取り組むとともに、潤いのある水環境を創出
- 区市町村や関係省庁、組織委員会等と連携し、オリパラ大会開催を契機に暑さ対策を促進

### 【大気・土壌・水等の分野における主な政策体系】

大気環境対策等	<ul style="list-style-type: none"><li>○PM2.5対策の推進</li><li>○オキシダント対策の推進</li><li>○アスベスト飛散防止対策の徹底</li><li>○騒音・振動対策</li></ul>
土壌汚染対策・化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"><li>○土壌汚染対策の推進</li><li>○化学物質排出削減策の推進</li></ul>
水環境・熱環境の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>○水質汚濁対策</li><li>○水循環の再生と水辺環境の回復</li><li>○競技会場や街なかでの暑さ対策を推進</li></ul>



【PM2.5対策の推進】

○多様な発生源に対するきめ細やかな対策

(工場・事業場対策)

- ・工場・事業場に対するばい煙等の排出規制の着実な実施
- ・低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>小規模燃焼機器の普及拡大
- ・VOC総排出量削減対策の強化

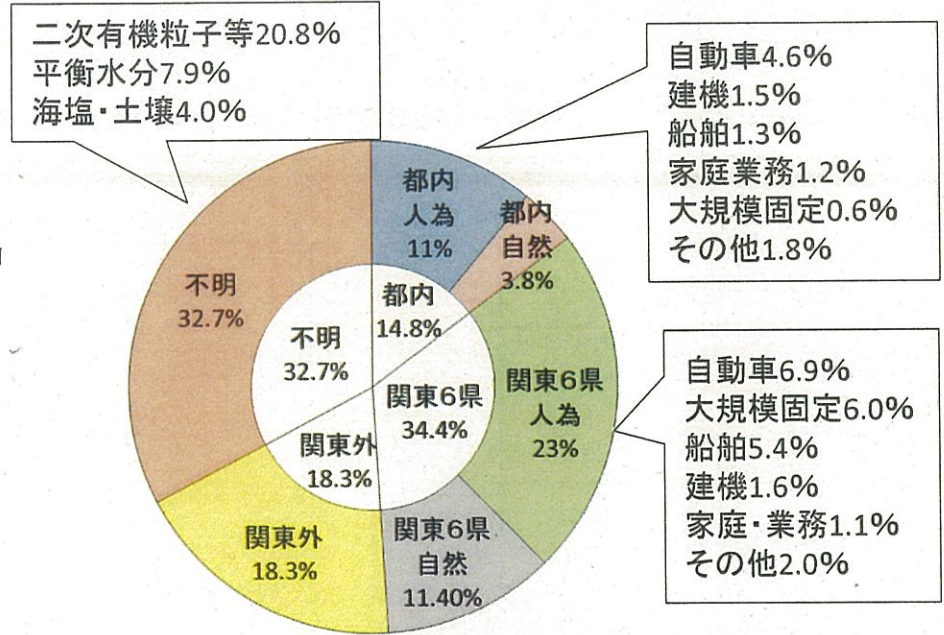
(自動車・船舶対策)

- ・低公害・低燃費車の普及
- ・自動車排出ガス低減性能の効果的な監視体制の整備
- ・船舶からのNO<sub>x</sub>・SO<sub>x</sub>排出量を削減

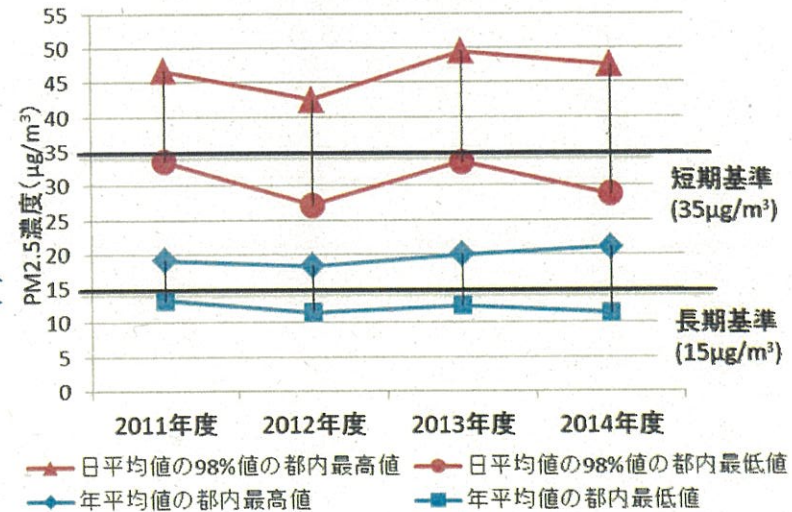
(業務・家庭部門対策)

- ・未規制の排出源（家庭・業務用燃焼機器等）に対して、低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>認定制度を拡大

【2008年度の都におけるPM2.5濃度への発生源別の寄与割合(推計)】



【PM2.5濃度と環境基準】





【PM2.5対策の推進】(続き)

○広域連携の推進

- ・夏季のVOCを排出する事業者へ排出抑制の取組を促す対策に加えて、冬季を中心に野焼き対策、自動車使用抑制対策等を実施
- ・大規模な開発計画に対するPM2.5への配慮の要請
- ・低NO<sub>x</sub>・低CO<sub>2</sub>認定機器をグリーン購入等で広域拡大

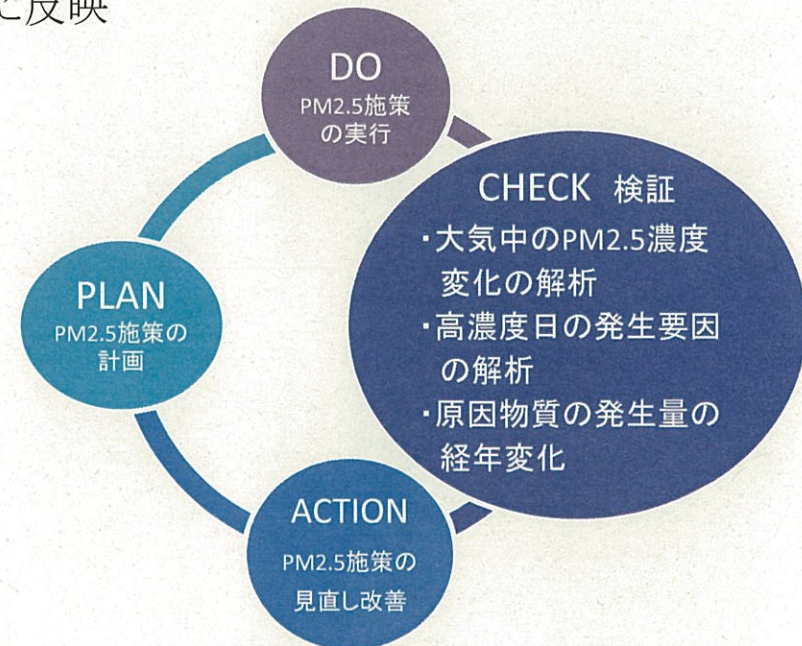
○PM2.5研究の推進

- ・対策効果の検証・解析から効果的な削減施策に反映  
(取組をPDCAサイクルで推進)

○国際協力の推進

- ・東アジア各都市との技術者交流などを推進

【PM2.5対策におけるPDCAサイクル】





## 大気環境対策等

### 【オキシダント対策の推進】

#### OVOC(揮発性有機化合物)総排出量削減対策の強化

- ・ 産業部門、一般家庭・オフィス、自動車等排出ガスへの対策を継続
- ・ 産業部門のVOC物質の排出について化学物質適正管理制度において現在対象外のVOC物質をさらに削減するための方策を検討
- ・ 量販店等と連携し、低VOC商品の選択促進
- ・ 九都県市等と連携し、ガソリン蒸発ガスへの適切な対策を国等へ要望

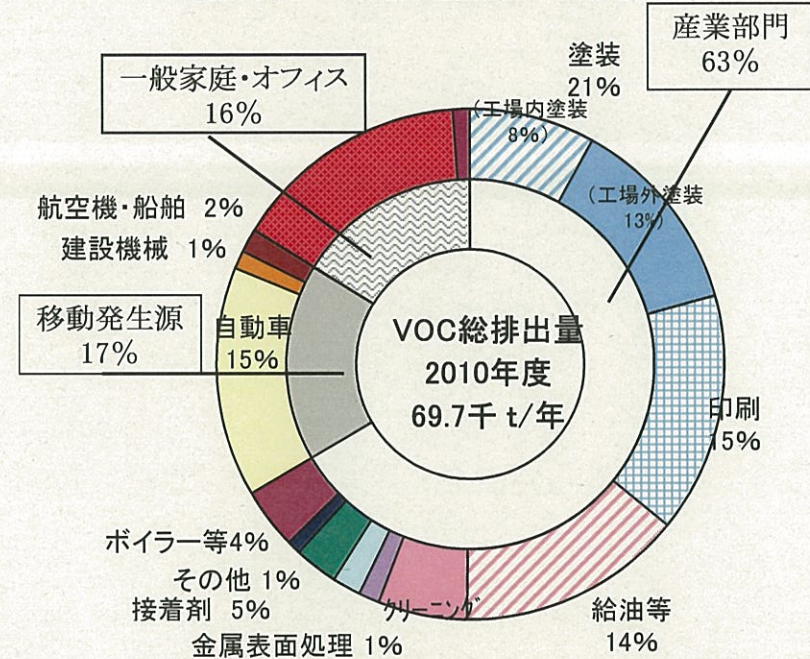
#### ○光化学オキシダント高濃度日のNO<sub>x</sub>、VOC排出抑制

- ・ 光化学スモッグ予報にあわせたVOC排出抑制策を検討

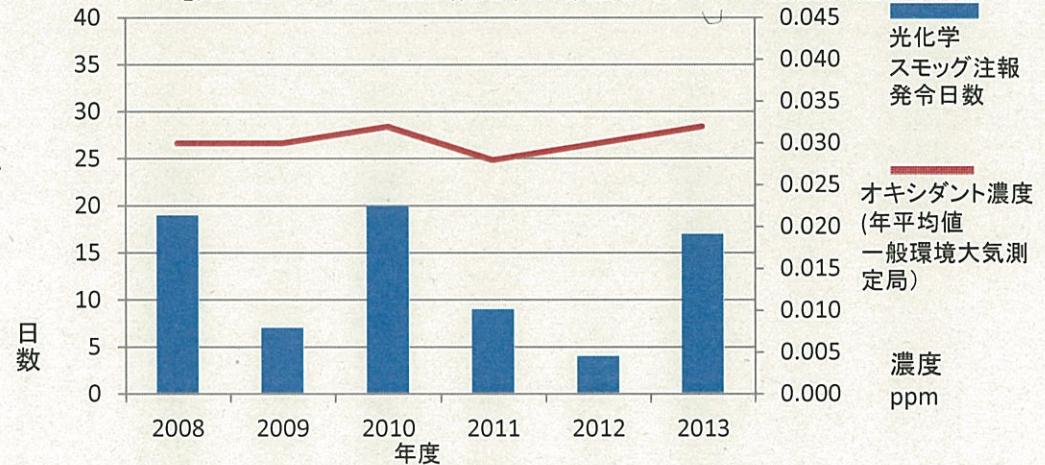
#### ○光化学オキシダント対策の研究

- ・ 二次生成過程の解明などの効果的な削減手法を示すための調査研究
- ・ 植物起源VOC調査等により発生源インベントリ整備

【都内のVOC総排出量推計の内訳】



【光化学スモッグ注意報発令日数とオキシダント濃度の経年変化】





## 大気環境対策等

### 【アスベスト飛散防止対策の徹底】

- ・東京労働局等との届出情報の共有や  
合同立入等によるアスベスト適正処理の推進
- ・区市へのアスベスト分析等の技術支援の強化

【吹付石綿の例】



### 【騒音・振動対策】

#### ○適切なモニタリングと対策の実施 (自動車騒音対策)

- ・低騒音舗装の敷設を推進  
(長期ビジョン)
- ・次世代自動車の導入促進

#### (鉄道騒音対策)

- ・音源特定などの騒音実測調査により、  
環境基準等の未達成地点の騒音低減化対策を事業者等に要請

#### (航空機騒音対策)

- ・騒音実測調査等により監視し、  
騒音低減対策（環境基準の達成）を国等に要請

#### ○生活騒音・振動の苦情の低減

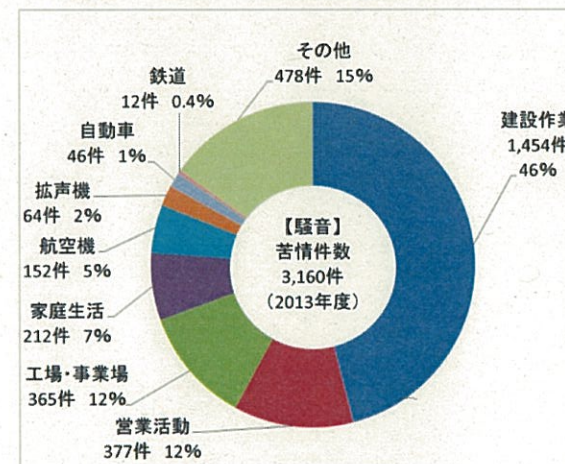
- ・建設作業に伴う騒音・振動に関する調査を実施し、  
調査結果を区市へ提供することで、区市による効果的な  
指導を支援

【騒音に係る環境基準の達成状況】

	道路			新幹線		航空機		
	昼間	夜間	住宅系地域の 夜間要請限度	東海道新幹線	東北新幹線	東京国際空港 (羽田)	横田飛行場	厚木飛行場※
2006 年度	88%	77%	87%	77%	100%	100%	69%	14%
2013 年度	95%	89%	93%	94%	100%	100%	75%	64%

※ 厚木飛行場の2006年度と2013年度は指定区域の範囲が異なるため、単純には比較できない。

【騒音に係る発生源別苦情件数の割合】



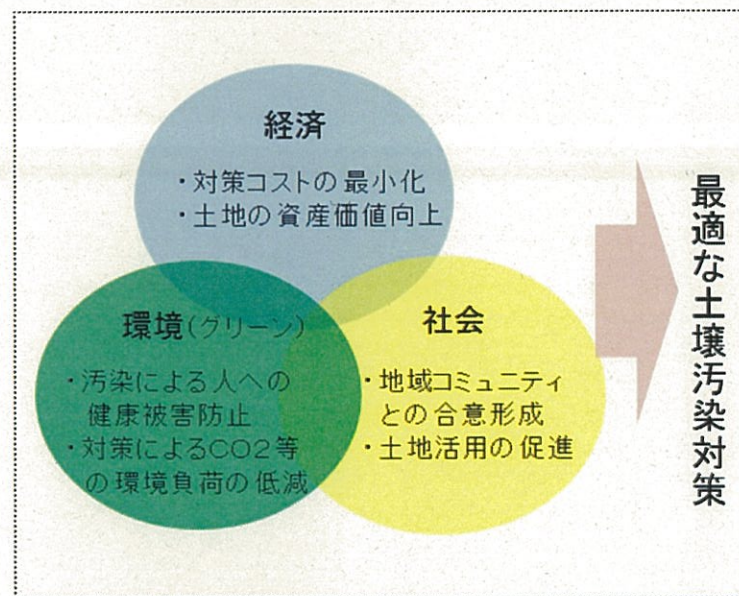


## 土壌汚染対策・化学物質対策

### 【土壌汚染対策の推進】

- ・ 中小事業者への技術支援等による合理的な土壌汚染対策の推進
- ・ さらに、環境面だけでなく社会面、経済面にも配慮することで、案件ごとに最適な土壌汚染対策を選択する手法の検討

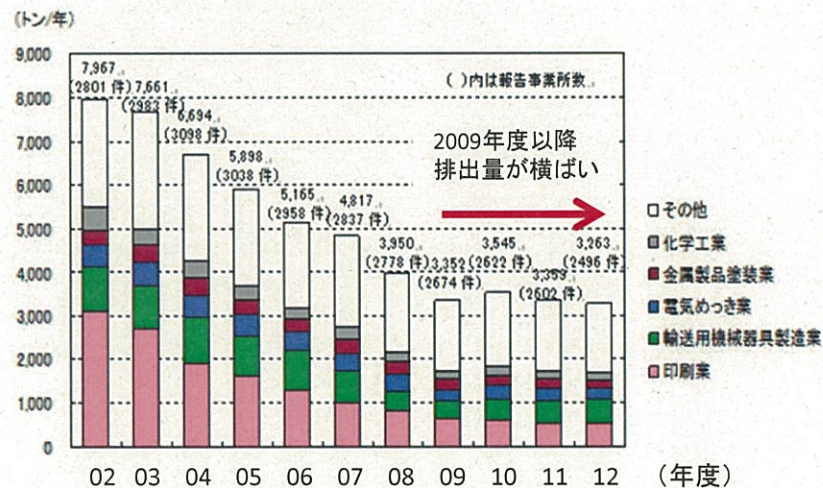
【最適な土壌汚染対策 イメージ図】



### 【化学物質排出削減策の推進】

- ・ 化学物質適正管理制度を充実させ、化学物質の排出量をさらに削減する方策を検討
- ・ 住工混在地域の健康リスク評価を踏まえ、適正管理化学物質へ追加指定の検討

【環境への排出量の推移 (都内)】





【水質汚濁対策】

○東京湾や河川における水質改善対策の推進

- ・ 総量規制等の着実な実施に向け、国や関係自治体と連携した取組を推進
- ・ 合流式下水道改善、しゅんせつの実施（長期ビジョン）
- ・ 水質や水生生物等の調査を継続し、国や関係自治体と連携した水質浄化の取組にモニタリングデータを活用

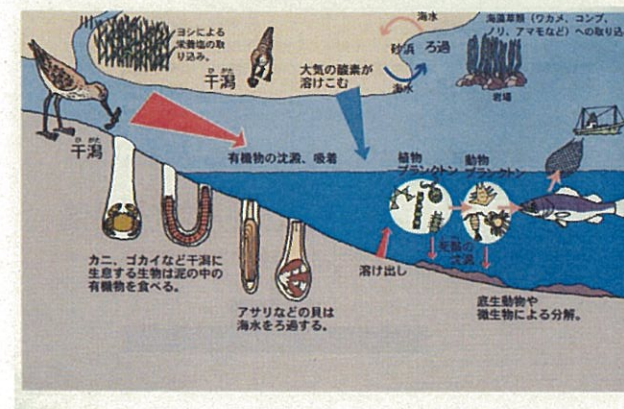
○水質改善に資する研究成果の活用

- ・ 浅場・干潟等における生態系の浄化機能等に係る研究など水質浄化の知見を集積し、水生生物の生息環境の整備や東京湾の水質改善を促進

【東京湾の水質調査】



【干潟の浄化機能】





## 水環境・熱環境の向上

### 【水循環の再生と水辺環境の回復】

#### ○地下水利用の適正管理

- ・ 法律・条例に基づく適切な揚水の管理
- ・ 地盤沈下、地下水位、地下水揚水量の監視・検証の実施
- ・ 安全管理を含めた温泉資源の適正利用の指導
- ・ 地下水涵養を前提とした地下構造物からの漏えい水の利用方法を検討

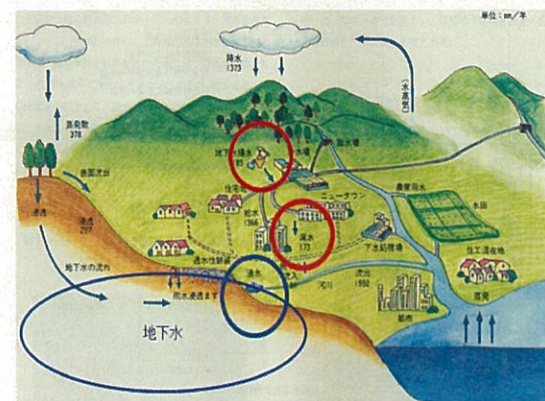
#### ○湧水の保全・回復

- ・ 地下水涵養に大きな役割を果たす緑地の保全と雨水浸透の取組を推進

#### ○水辺環境の向上

- ・ 水辺環境の整備を進める事業者への補助  
(花と緑による緑化推進事業)
- ・ 湧水、水路など水辺の生態系を保全する区市町村へ財政支援
- ・ 水辺空間における多彩なにぎわい・魅力の創出 (長期ビジョン)
- ・ 河川等の安全性向上など災害対策の推進 (長期ビジョン)

【水循環】



【湧水群】





## 水環境・熱環境の向上

### 【競技会場や街なかでの暑さ対策を推進】

#### ○民間事業者や区市町村等の取組促進

- ・多様な主体と連携し、都内各所でドライ型ミストの設置や花や緑の整備などクールスポットの創出を展開

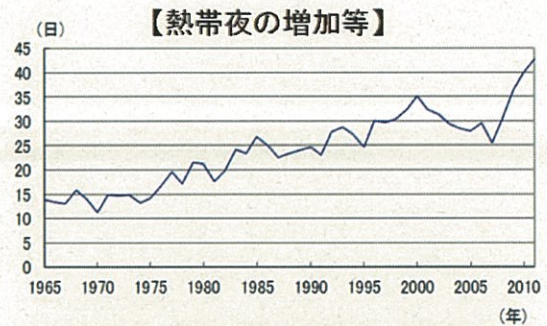
#### ○オリンピック・パラリンピック開催に向け

##### 組織委員会や関係省庁等との連携強化

- ・遮熱性舗装・保水性舗装の整備など大会施設やマラソン沿道等での暑さ対策の推進
- ・熱中症の予防・啓発、打ち水の普及等のソフト面での取組を推進

#### ○ヒートアイランド対策推進会議を活用した

##### 都の全庁的な取組の推進



東京の熱帯夜の日数 (5年移動平均) 資料: 気象庁

### 【ドライ型ミスト】



### 【保水性舗装・散水設備】

